



どきどき

### すてきな三にんぐみ

トミー・アングラー/作 今江 祥智/訳  
偕成社

黒いマントに黒い帽子の三人組。それはそれはこわーいどろぼうたちです。ある夜のこと、襲った馬車にいたのはみなしごのティファニーちゃんだけ。さて三人組は……。こわいどろぼうたちの意外なやさしさに心が温まります。ドキドキさせるストーリーを簡潔な文章で表現し、青と黒と赤の色彩が印象的な絵本です。

### しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ/作 うちだりさこ/訳  
ポフダン・ブテンコ/絵  
福音館書店

一滴のしずくが、ひとりぼっちで旅に出るおはなしです。水溜りにはまったり、さむくて凍ってしまったり。ハラハラドキドキ、しずくはどうなってしまうんでしょう。テンポのいい文章と、手書きの文字・くるくるかわるしずくの表情がかわいらしい絵本です。物語絵本であると同時に、科学絵本でもあります。

かわいい  
絵本

### わたしのワンピース

にしまき かやこ/作  
こぐま社

ふわふわと空から落ちてきた真っ白なきれいで、うさぎはワンピースを作りました。そのワンピースを着てみたら、あら不思議。お花畑を散歩すると花模様になったり、雨が降ってくると水玉模様になったり。その柄が次々と変化していくのです。“ミシン カタカタ”“ララン □□ロン”のようなリズムカルな言葉の響きも楽しめます。シンプルな繰り返しの文章と、やさしいタッチと色合いで描かれた女の子に人気の1冊です。



### かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック/作 じんぐう てるお/訳  
富山房

ある晩マックスはオオカミのぬいぐるみを着て大暴れ。怒ったお母さんに夕ご飯抜きで寝室に放り込まれます。すると寝室によきりによきりと木が生えて、あたりは一面、森や野原。一年と一日航海し、ついたところは「かいじゅうたちのいるところ」。さてマックスは、無事に家に帰ることができるのでしょうか？

文章だけでなく、迫力たっぷりのかいじゅうたちの表情や、独特の色使いがなんとも魅力的な絵本です。



### わたしとあそんで

マリー・ホール・エッツ/作・絵 与田 準一/訳  
福音館書店

原っぱへ遊びにいった女の子が、ばったやかえる、かめやりすに出会います。声をかけますがみんなどこかへ行ってしまう。でも、じっと池のそばに腰かけていると、いつの間にかみんなが集まってきてくれました。

やわらかなタッチの絵で、うれしそうな女の子の笑顔と最後までやさしく見守っているおひさまにほっとあたたかな気持ちになります。

佐賀県立図書館100周年記念事業

# 永く読み 継がれている絵本

— 3歳から —



わくわく

### はらぺこあおむし

エリック・カール/作 もり ひさし/訳  
偕成社

ちっちゃなたまごからかえったはらぺこあおむしが、いろんなものをたくさん食べてさなぎへと変化し、きれいなちょうに変身するおはなしです。子どもたちときれいな絵を見ながらどんなものを何個たべるのか一緒に楽しんで読める本です。

カラフルな絵と簡単なしかけが楽しめる絵本です。

### ぼくのくれよん

長 新太/おはなし・絵  
銀河社

そうのくれよんは、とても大きいです。青いくれよんで描いたら、動物たちが池と間違えて飛び込んだり、赤で色をぬったら火事と間違え、黄色はバナナと間違えます。そこでそうは、ライオンに怒られますが、描き足りなくて、くれよんを持ってかけだします。今度は何を描くのかな……。

大胆でシンプルな絵と「ごろごろごろごろ」「にゅー」「びゅーびゅー」という言葉で表現され、ユーモアたっぷりの絵本です。

### だるまちゃんとてんぐちゃん

加古 里子/作・絵  
福音館書店

だるまちゃんとはてんぐちゃんが持っているものが気になってしかたありません。「てんぐちゃんのようなうちわがほしいよ」「ぼうしがほしいよ」……次々と出てくるだるまちゃんの「ほしいもの」ですが、たくさんの中の中からピッタリのものは見つかるのでしょうか。だるまちゃんたちと一緒に絵の中を探すと楽しさもある絵本です。

### きよだいなきよだいな

長谷川 摂子/作 降矢 なな/絵  
福音館書店

のっばらに巨大なものが次々と現れて、子ども100人が無邪気に遊びます。リズムカルな「あったとさ あったとさ」の繰り返しがとても心地よく響きます。ページをめくるたびにお子さんの笑い声は大きくなっていくはず。こっそり登場するきつねを探すのも楽しいですよ！



佐賀県内公共図書館児童サービス研究会作成



## 三びきのこぶた

瀬田 貞二/訳 山田 三郎/絵  
福音館書店

だれもが知っている有名なお話です。しかし一匹目のこぶたがオオカミに食べられてしまうと、「知ってる!」と言っていた子どもたちが「えっ! 食べられちゃった!」と真剣になりませう。二匹目のこぶたも食べられ、いよいよ三匹目のこぶたとオオカミの知恵比べです。

少し残酷な感じもしますが、もともとの昔話の持つスリルを味わってみるのもいいのではないのでしょうか。

## 三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン/絵 せた ていじ/訳  
福音館書店

三びきのやぎの名前はどれも「がらがらどん」といいます。谷川の向こうにある草を食べるために橋を渡ろうとしますが、その橋の下には「トロール」という恐ろしい怪物がすんでいます。三びきのやぎとトロールのやりとりにドキドキハラハラ、おもわず力が入ります。

さて、がらがらどんたちは無事に橋を渡ることができのでしょうか? ダイナミックで躍動感のある絵と、繰り返しが楽しい絵本です。

## ねずみくんのチョコッキ

なかえ よしを/作 上野 紀子/絵  
ポプラ社

お母さんが編んでくれた赤いチョコッキ。ねずみくんにとても似合ってます。それを見たアヒルに「ちょっときせてよ」と頼まれました。するとサル・アシカ・ライオンなどだんだん大きな動物もやってきて……。ねずみくんのチョコッキはどうなるのでしょうか。鉛筆画のイラストにチョコッキの赤が映え、動物の表情もコミカルに描かれています。ことばの繰り返しを楽しく、最後は思わず微笑んでしまう絵本です。

## 昔話

## おおきなかぶ

内田 莉沙子/再話 佐藤 忠良/絵  
福音館書店

おじいさんがかぶを植えたら、とてつもなく大きなかぶができました。おじいさんは、かぶを抜こうとしますが抜けません。おばあさん、まこ、いぬ、ねこ、ねずみまで次々と加わりひっぱりますが……。

「うんとこしょ どっこいしょ」の繰り返し楽しい絵本です。親子で一緒にかけ声をかけて、読んでみてはいかがでしょう。

## てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ/絵 うちだ りさこ/訳  
福音館書店

おじいさんが落としていったてぶくろに、次々とめぐりこむ動物たち。てぶくろはぎゅうぎゅうづめの満員です。そこにくまがやって来て、どうしても入ると言います。やっとくまが潜り込んだところへ、おじいさんの犬がかけて来て……。

繰り返しの語りと、衣装をつけた表情豊かな動物たちの絵が、子どもたちの心をひきつける絵本です。

## 動物が でてる絵本



## とりかえっこ

さとう わきこ/作 二俣 英五郎/絵  
ポプラ社

遊びに出かけたひよこが、ねずみと鳴き声をとりにかえっこしました。ねずみがびよびよ、ひよこがちゅうちゅう。お次は、ぶたと鳴き声をとりにかえっこ。次は誰ととりかえっこするのかな?

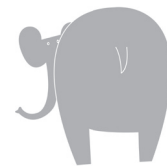
柔らかなタッチで描かれた動物たちが画面のあちこちで笑ったり驚いたり。ページの隅から隅まで楽しめる絵本です。

## ちびゴリラのちびちび

ルース・ボーンスタイン/作 いわた みみ/訳  
ほるぷ出版

小さくてかわいいゴリラの名前はちびちび。お母さん、お父さんはもちろん、大きなへびやライオンもちびちびが大好きです。やがて大きく成長するちびちびですが、皆がちびちびを好きな気持ちは変わりません。「お母さんもお父さんもみんな、君が大好きなの」。

いきいきとした動物たちの姿や、柔らかな雰囲気を出すパステル画が、子どもに温かな愛情を伝えてくれる優しい絵本です。



## がんばれ

## ぐるんぱのようちえん

西内 ミナミ/作 堀内 誠一/絵  
福音館書店

ゾウのぐるんぱはひとりぼっち。からだは大きいけれどとてもさみしがりやです。そんなぐるんぱがジャングルを出て働くことになりました。ビスケット、お皿、自動車……。ぐるんぱが作るものはどれも大き過ぎて失敗ばかり。でも大丈夫! それらみんなぐるんぱの幼稚園では大活躍。子どもたちに囲まれたぐるんぱの幸せな笑顔が素敵です。

## はけたよはけたよ

神沢 利子/作 西巻 茅子/絵  
偕成社

たっくんは何度やってもパンツがはけません。とうとうパンツをはかないまま外へ飛び出してしまいました。おしりを出して歩いていると、いぬ、ねこ、次々と動物がやって来て「しっぽのないおしり」を笑います。ところがたっくんは自分で、パンツのかんたんはなをかたを発見したのです。おかあさんがぬつてくれたズボンちゃんとはけましたよ。

## 動物が でてる絵本

## かばくん

岸田 衞子/作 中谷 千代子/画  
福音館書店

詩人である岸田衞子の文章がリズムカルで、耳に心地よく響きます。画面いっぱいに生き生きと描かれたかばくんは圧巻。また朝から夜まで時間の経過とともに色彩が変化していき、素朴で美しい色合いの絵本です。

## ぐりとぐら

中川 李枝子/作 大村 百合子/絵  
福音館書店

料理をすることと食べることが大好きな2匹のねずみぐりとぐらは、森の奥で大きなたまごを見つけました。2匹は、そのたまごを使って、大きなカステラを作ることになりました。大きなフライパンを使ってカステラを作る姿がとてもかわいらしく、できあがったカステラを森の動物たちと食べる場面では、みんなで食べる楽しさが伝わってきます。絵はシンプルで分かりやすく、カステラは食べたくなるほどおいしそうに描かれています。



## 14ひきのひっこし

いわむら かずお/作  
童心社

さあ、14ひきのねずみの家族が森の奥めざしてひっこしです。途中危険な事にもあいながら、やっと木の根元にたどりつきます。そこに、みんなで力を合わせて新しい家をつくっていきます。季節や自然をおりませながら、ねずみの家族がとても生き生きと、かわいらしく描かれています。

14ひきシリーズで何冊も出ていますが、あなたのお気に入りを見つけたいかたはぜひ読んでみてください。